



# 愛宕山の文学・歴史散歩

～ 愛宕の碑をめぐる ～

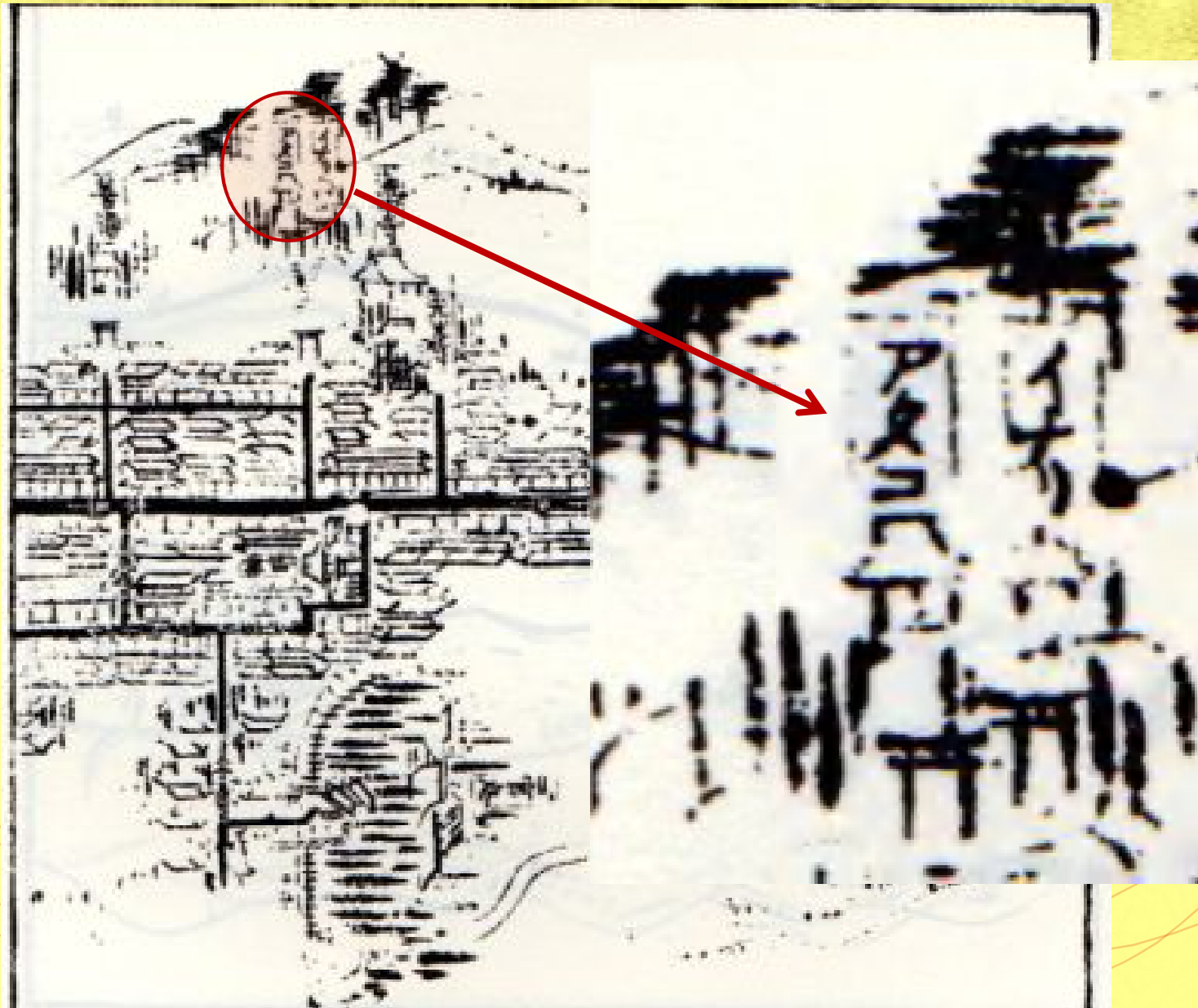
野辺地町歴史を語る会 鈴木幹人

# 愛宕山と愛宕公園

愛宕山が歴史に登場するのは江戸後期の文化年間以降  
愛宕公園が正式の公園と認められたのは、明治41年の時



# 江戸時代の絵図に見える愛宕山



「南部叢書第七冊」所収『北奥路程記』より

# 愛宕公園の成立

明治17年に、野村治三郎等が発起人となり、野辺地公園地創業発起人名簿作成

明治41年に、愛宕公園改修計画を実行、設計を長岡安兵に依頼



公園監督規定と公園費を創出 → 正式の公園となる

大正10年に公園を拡張

昭和4年には花鳥号銅像が建立される

昭和10年の青森県への報告では、「町民ノ杖ヲ曳クモノ絶ルコトナク」-----観桜者八雑沓ヲ極ム----漸次----樹木ヲ増殖シ花卉類ノ植付ケ運動具ノ設備ヲナス計画ナリ---」とある。

それでは、愛宕公園の散策に出かけましょう。

最初に桜と欅の並木を通して、石段へと向かいます。



並木道の右手に噴水とゲートボール場が見えます。



階段に向かって左手手前にエドヒガン、正面に御膳水、左手奥に旧巖泉閣となります。

石段は、大坂城の石垣に使用されたものと同じ材石で、かつて本町に敷かれていたものの一部です。この縁で小豆島土庄町と友好関係を結びました。これを記念した石碑が建てられました。





石段を登ると木に囲まれた平坦地に出ます。ここに石川啄木の歌碑があります。  
そこからもう少し登ると、松尾芭蕉句碑が建っています。

その上に蒼前神社跡があります。昭和27年の大火で焼失しました。  
手水石が残されていて、大平競馬場に参加した人の寄進であることが分かります。





蒼前神社跡を、左に進むと愛宕神社の境内に出ます。

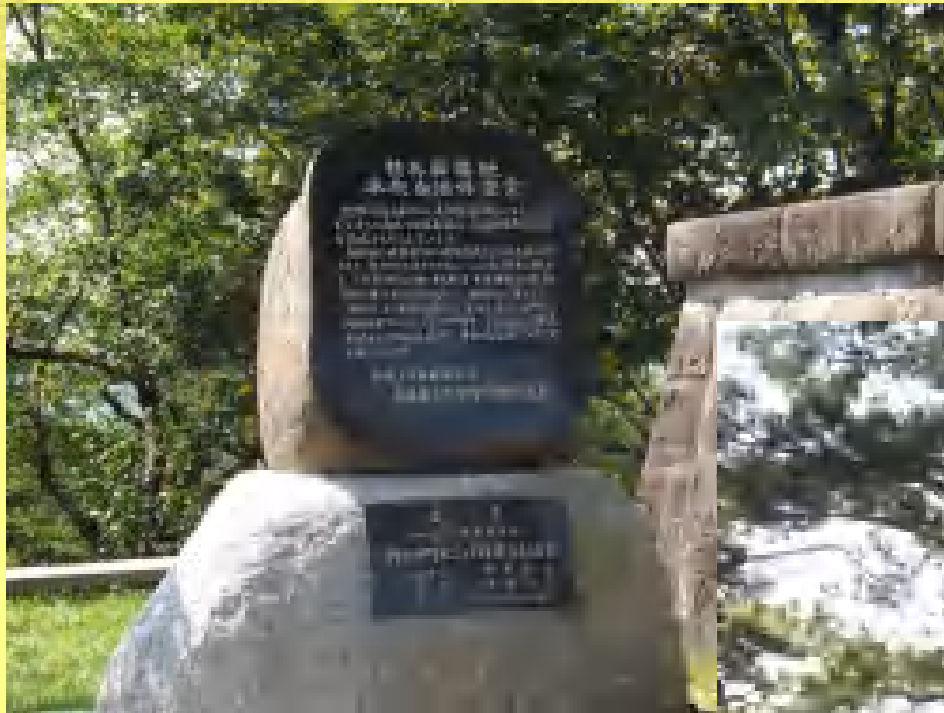
境内には、伊藤福平翁報恩碑・不動明王像などがあります。



愛宕神社の後から愛宕公園の頂上に出ると四阿、その横に中市謙三句碑が建っています。



頂上を西の方向に進むと、平和自治体宣言碑と三つ並んだ石碑が見えてきます。



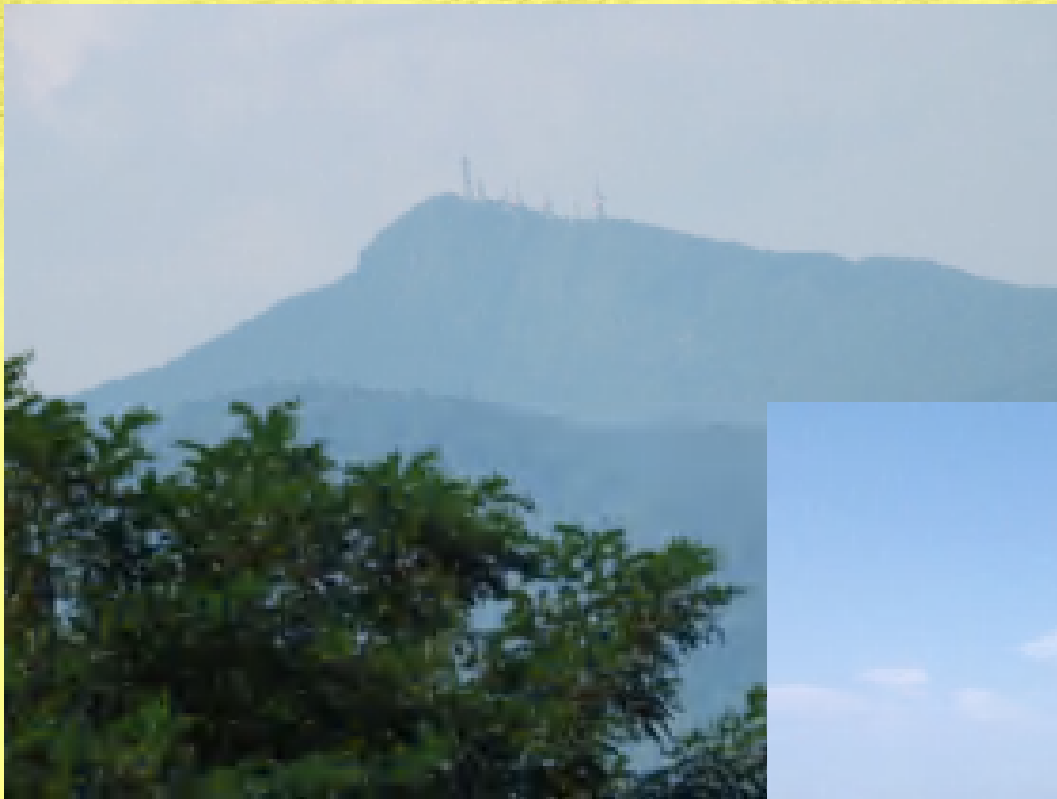
三つ並んだ石碑は、左から

太平洋戦争の戦死者を祀った殉国之碑 日露戦争の戦死者を祀った忠魂碑

日清戦争の戦死者を祀った我武威揚碑です。



頂上の展望台の脇から、階段を下っていくと遊歩道に出ます。



遊歩道を下ると、花鳥号銅像のある場所に出ます。



花鳥号銅像が建っている場所から階段を下り、愛宕コミュニティセンターに向かうと  
愛宕コミュニティセンターの入口付近に  
埼玉県菖蒲町との友好と式年として建てられた可愛らしい母子馬像と出会えます。





以上、足早に愛宕公園を散策してみました。

本日は最後まで御静聴いただきありがとうございました。

THE END

